

科目名	日常生活活動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
ADLの基礎と福祉用具に関する知識を習得する								
〔授業全体の内容の概要〕								
授業形態は講義と実技を中心に行います								
〔講師の実務経験〕								
医療センターにて急性期から回復期リハビリテーションに理学療法士として7年間勤務								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
日常生活活動の基本を理解し、適切なADLの介入を行えるようになる。福祉用具も理解する。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	ADL概論							
3	福祉用具について							
4	福祉用具について							
5	福祉用具について							
6	脳卒中片麻痺とADL							
7	脳卒中片麻痺とADL							
8	脳卒中片麻痺とADL							
	定期筆記試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版	鶴見隆正	医学書院

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

レポート提出・小テスト・期末試験を総合的に評価を行い、60点以上を単位認定とする。